

# 市政に関する 一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載(氏名下の数字は発言順番)しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題(問)を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものとなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録をご覧ください。

### 【会議録の閲覧について】

平成二十一年十一月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では五月下旬頃から、議会ホームページ上では七月上旬頃から閲覧できます。○会議録をご覧いただけます。

- ・市役所六階 議会事務局
- ・市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・市立図書館(四館) 出張所(十箇所)

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P.川越 21 石川 智明  
**残業削減で緊急雇用創出を**

**問** 緊急雇用対策として、市職員が行っている年間約二十八万時間の残業を削減し、臨時職員採用を行うワークシェアリングは実施できないか？

**答** 市長 ※ 臨時職員採用については、事務の継続性、事務スペース確保、守秘義務等や長期雇用が保証されず、安定した就業形態が確保できないといった失業者の長期又は

正規雇用の意思と合致しない等課題があるが、今の雇用状況から緊急対応として時間外勤務時間の削減を見据えた中で、ワークシェアリングの視点にたち、臨時職員で対応可能な事務等の早急な検討に入るとともに、併せて国の緊急雇用対策の推進を図りたい。

緊急雇用対策  
カーブミラー設置基準



P.川越 21 倉嶋 美恵子  
**保育定員改善の検討組織を**

**問** 川越市の保育所待機児童は解消されず、子育てプランの目標も未達成である。中核市の中で最低の保育定員を改善すべく、検討組織を考えるべきだ。

**答** 福祉部長 子育てプランの目標事業量に向け、既存の保育所の定員の見直し、保育施設の増改築を進め定員増を図る等、早急な対応が必要であると認識している。

待機児童に対する課題を解決するためには、定員や財源などの課題があるので、総合政策部、財政部及び福祉部内の関係課等による検討組織を立ち上げ、既存施設の定員見直し、施設整備の在り方等の課題について施策の有効性、効率性、即効性などの視点からの検討を考えている。

子育て支援策の取組み



自民ク 神田 寿雄  
**霞ヶ関西地区に公民館を**

**問** 霞ヶ関西地区には、住民の教養の向上、健康の増進のための施設が不足している。この為、公民館建設を住民は切望しているが、市の考えは？

**答** 教育総務部長 公民館整備は「中学校区及び行政区」を勘案し、未設置地区解消に努力しており、仮称霞ヶ関西公民館等建設事業を実施計画に位置付けている。地元の要望

する建設候補地が市見解と異なり検討を繰り返したが、検討結果の提言から仮称霞ヶ関西公民館建設候補地の方針決定を行いたい。二十一年度中に候補地の地質調査、測量を行い、仮称霞ヶ関西公民館建設検討懇話会の設置及び施設内容の検討をし、次年度以降基本設計実施設計に進みたい。

霞ヶ関西公民館の建設



自民ク 関口 勇  
**学校生活でのトイレ問題**

**問** 学校生活でのトイレの問題を含め、和式トイレの使い方とトイレ掃除の指導をどう考えるか。

**答** 学校教育部長 家庭と異なるトイレでの排泄・処理方法に慣れるまで不安を感じたり、恥ずかしい等で我慢等する児童がいることや怪我等の児童・生徒の為にトイレ整備の問題がある中、和洋式トイレの使い方指導は

入学当初に実態に応じ排泄後の処理方法等、絵等を使い、実際のトイレで確認している。我慢や恥ずかしがらなくてよいことも指導し、生活リズムに合わせた排泄習慣について家庭と連携している。掃除は各校とも自主的な清掃活動に取組めるよう、掲示物等を作成するなど工夫して指導をしている。

小学校のトイレの環境



無所属 須賀 博  
**高齢者福祉の今後の対策**

**問** 川越市も今後、高齢者の増加が予想されるが、在宅介護支援センターと地域包括支援センターの役割と対応について、市の対策を伺いたい。

**答** 福祉部長 在宅介護支援センターは、要援護高齢者等からの相談に応じ、介護等のニーズに対応した各種保健、福祉サービスを総合的に受けられるよう関係機関との連

絡調整等を行っている。地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上と福祉推進を包括的に支援する中核的機関である。今後両センターの体制の見直し等を検討しつつ関係機関との連携を強化し、地域ケア体制を構築したい。

高齢者福祉の指針



啓政会 山口智也

鏡山酒造跡地の整備と今後

6

問 旧鏡山酒造跡地について、市は平成十八年に取得して以来順次整備を進めて来たと思うが、今後の利活用方法、オープン時期、愛称等を伺いたい。

答 産業観光部長 施設の運営管理は、指定管理者制度を導入し、独立採算型の運営による民間の経営資源や、創意工夫による質の高いサービスの提供を考えている。指定管

理者の指定の議決後に内装等の工事に着手する為オープンは平成二十二年十月頃となる。オープンまでの間は、「つばさ」関連の展示、市内農産物の直売、イベントスペース等での活用を予定している。また、愛称は市民の公募により決定したい。

問 連続テレビ小説つばさ 旧鏡山酒造跡地の整備 旧織物市場等の活用



無所属 川口啓介

児童遊園での除草剤禁止を

7

問 自治会管理である児童遊園の除草作業は、約九割が市で配布した除草剤で行っている。安全上、環境配慮の面からも使用を禁止すべきではないか。

答 市長 ※ 自治会の負担を軽減するため、要望する自治会に「カソロン粒剤6・7」という除草剤を配布している。この薬剤は危険有害性の分類基準に該当せず、環境への

影響が少なく、比較的安全性が高いとされている。また、使用の際は、児童遊園利用者や地域の皆様への十分な周知、安全対策の履行をして下さるようお願いしている。

しかし、児童遊園での除草剤の散布は、子供の安全に関わる問題であるので、少なくとも四年の内には全部やめたい。



市フォーラム 牛窪多喜男

食育への川越市の取り組み

8

問 高齢者の食育が成されていないと各報道で聞くが、精神のバランスや病気の予防に食育が大切だと思うが、市はどう取り組むのか。

答 保健医療部長 高齢者にとつて「食べること」は、楽しみや生きがいの上からも大変重要であり、「食べること」への支援は、栄養状態を改善し、身体機能や生活機能を維

持・向上させ、生活の質の向上にも通じている。高齢者の食事についての教育は、総合保健センターや地区公民館などで栄養改善を目的とした健康教室や相談会を開催しているが、今後、庁内の高齢者福祉部門、老人会や関係団体・関係機関などと連携してさらに推進してまいりたい。

問 食育への市のとりくみ



公明党 大泉一夫

農業産出額への市長の目標

9

問 川越市の農業従事者の減少や遊休農地の増加の主な原因は、農業算出額が低い事にあると思うが、市長の農業政策に対する生産目標を伺いたい。

答 市長 後継者の不足や離農、耕作放棄地等の背景には、農業所得の低迷があると考えます。今後は、現在八十億円程度の農業算出額を百億円程度にすることを目指し、農業所

得向上の視点から施策を進め、経営の安定を図る。農業振興にあたっては、農業活性化のための域内流通を活かした地産地消と、我が国の自給率向上を担うべく生産量を拡大すること、そうした施策の基本となる農地の保全についてを施策の柱として推進していきたい。

問 農業対策と農業体験 市職員の時間外勤務



公明党 桐野忠

高齢者とのふれあい事業

10

問 認知症予防に若い人との交流は効果的だと考える。市内四大学に働きかけ、音楽・スポーツ・文化での高齢者ふれあい事業を行ってはいかがが?

答 福祉部長 市としても市内四大学を大きな社会資源と認識し、十九年十一月に四大学と「川越市と市内大学との連携に関する基本協定」を締結した。この協定では連携事

項の一つに保健・福祉の充実に関するものを掲げている。今後想定される連携事業には、福祉ボランティア、高齢者のグループ活動等での音楽活動を通じたサポート、市民へのスポーツ施設開放事業等があり、これらを踏まえ高齢者とのふれあい事業の実施を検討したい。

問 高齢者福祉の充実 学校と家庭を繋ぐ対応



公明党 若狭みどり

ファシリティマネジメント

11

問 今後二十年の間に百を超える公共施設が耐用年数に達し、費用は膨大と予測される。社会資本マネジメントとファシリティマネジメントの違いは。

答 財政部長 第三次総合計画では社会資本マネジメントの取り組みとして、社会資本の整備更新計画の策定、PFI等の民間活力の活用、保有財産の有効活用等を掲げている。

これは保有資産を経営的視点から捉え、管理経費の最小化や施設効用の最大化を図るファシリティマネジメントと考え方の基本的部分で一致しており、今後更にこの考え方を取り入れることで、社会資本マネジメントの効果が高めることが出来る。

問 髓膜炎予防 読書運動の推進 マネジメント

